

2024 ねん7がつごう (no. 261) **やすとしよかん**

ほんかん	10:00~18:00 (火ようび~日ようび)	でんわ 077-586-0218 ファクス 077-587-5976
ちゅうずぶんかん	10:00~17:15 (火ようび~日ようび)	でんわ・ファクス 077-589-3382
ホームページ	https://www.lics-saas.nexs-service.jp/yasu/	



こどもむけイベントのおしらせ

★おはなしの森

7月7日, 14日, 21日, 28日 (日)

場所: おはなしコーナー 10時30分~

絵本やかみしばいをよみます(3歳~)

★ちっちゃんおはなしの森

7月11日 (木) 11時~

場所: おはなしコーナー

赤ちゃんから楽しめるおはなし会です

★ちっちゃんおはなしの森 in 中主

7月25日 (木) 11時~

場所: 中主分館

赤ちゃんから楽しめるおはなし会です

★化石とあそぼう ~三葉虫のなぞ~

7月27日 (土) ごご1時~

場所: としょかんホール

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4 館内整理日	5	6
7 おはなしの森	8	9	10	11 ちっちゃんおはなしの森	12	13
14 おはなしの森	15 海の日	16	17	18	19	20
21 おはなしの森	22	23	24	25 ちっちゃんおはなしの森 in 中主	26	27 化石とあそぼう
28 おはなしの森	29	30	31	8/1	2	3

※□の日はとしょかんは
お休みです

「調べものマスターをめざそう！」
もうしこみできる人: 小学4~6年
① 10時30分~ ② 2時~

『きょうりゅうレントゲンびょういん』

コソ・ハクオン/文・絵 こまつようこ/訳

(パイター・ナショナル) E/¥3

せなかのギザギザがじゃまなステゴサウルス、頭突きをしたためコブができたこどものステゴケラス…。ここはなやみをかかえたきょうりゅうたちがやってくる“きょうりゅうのためのびょういん”どんなおなやみも、ほねからかいけついたします。



『アンリくん、どうぶつだいすき』

ディット・ヴァッシュ/文 ガーヅニア・カール/文・絵

まついるりこ/訳 (徳間書店) K933/¥7

アンリくんとねこのミシエルくんはなかよし。いっしょにきしゃにのって農場へでかけていきました。アンリくんはいろんな動物がだいすきなのですが、ミシエルくんは動物はにがてだといって…。



あたらしくはいったほん

『うんこ虫を追え』 館野 鴻 / 文・絵

(福音館書店) K486

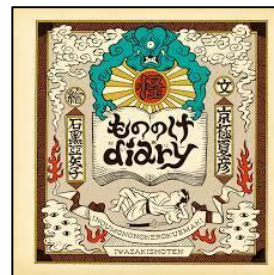
うつくしい虫「オオセンチコガネ」のだいすきなのはうんこ。動物のうんこを食べ、うんこのかたまりを土の中につくって幼虫をそだてます。まだよく知られていない、うんこ虫のなぞにせまります。



『もののけDiary』 京極夏彦/作 石黒亜矢子/絵

(岩崎書店) K913/¥3

主人公の稲生平太郎と人間をこわがらせにくる妖怪たちのふしぎな交流をえがく。江戸時代にかかれた不気味でユーモラスな妖怪の物語からうまれたおはなし。



★ほかにもあるよ! 「あたらしくはいったほん」のたなをみてみてね。よやくもできます

『ほたるホテル』 E/ヤナ

カズコ・G・ストーン/さく (福音館書店)

まいとし、やなぎむらのむしたちと、ほたるいけのほたるたちで、なつのあいだ「ほたるホテル」をひらきます。いろいろなむしたちが、ホテルにとまりにきますが、らんぼうものカエルまでやってきて…。★「やなぎむらのおはなし」シリーズほかにもあります。



『ペットボトルで育てよう むし』

谷本雄治/著 星輝行/写真 (汐文社) K486

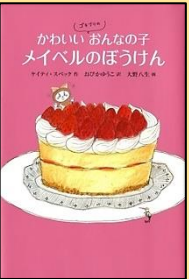
虫を飼いたいけれど虫かごがない…。そんなときは、身近なペットボトルを使って虫かごを作ってみよう！アゲハチョウやカブトムシなどの飼育方法、観察のポイントも紹介するよ。★ほかに「水の生き物」と「野菜・花」をペットボトルで育てる本もあるよ。



『かわいいゴキブリのおんなの子 メイベルのぼうけん』 K933/7A

ケイティ・スペック/作 おびかゆうこ/訳 大野八生/画 (福音館書店)

メイベルは、くいしんぼうでかわいいゴキブリのおんなの子。きれいずきなピーボディさんの家で、ひっそりくらしています。ある日、おきゃくさまのためにならべられたごちそうを見たメイベルは…。



★『メイベルとゆめのケーキ』もあります！

『虫のからだ ①はね』 K486

新開孝/写真・文 (岩崎書店)

虫のからだの一部「はね」に注目して紹介する本です。キリギリスが音をだすしくみ、チョウのはねの鱗粉の役割など、空をとぶだけでない「はね」のひみつがわかります。



★「虫のからだ」シリーズ⑤巻まであります。



『わたしたちのカメムシずかん』 K486

鈴木海花/文 はたこうしろう/絵 (福音館書店)

岩手県の葛巻町の小学校では、毎年たくさんのカメムシが、校内に入ってきてこまっています。ところが、カメムシにもいろいろな種類があると気づいた校長先生が、みんなで「カメムシはかせ」になろうとよびかけて、しらべはじめると…。



『ぼくたちけっこうすごいかも』 K913/1A

いとうひろし/作 (徳間書店)

くわがたの「くわくわ」と、かぶとむしの「かぶかぶ」は、だいのなかよし。きょうも、あそぶやくそくをしていましたが、なかなかあえなくて、かわりに、にがてなすずめばちたいしょうや、とかげおやぶんとであってしまいます。



『アリからみると』

桑原隆一/文 栗林慧/写真 (福音館書店) E/7A

いいてんきのひ、そとにでたアリは、いろいろなむしにであいます。ちいさいアリからみると、バッタもカマキリも、かいじゅうみたいにおおきくみえて、びっくりしますよ！



『虫めざる姫の冒険』

芝田勝茂/作 小松良佳/絵 (あかね書房) K913/7A

時は平安時代。葵祭の行列に、突然スズメバチの大群がおそいかり、パニックに！それを救ったのは、「虫めざる姫」とよばれているかわりもののお姫さまでした。

